

事例発表 I

南筑後地区

大川市の高齢者相互支援活動の取り組みについて

大川市老人クラブ連合会
長生会 会長 古賀 勝

【大川市の概要】

大川市は、福岡県と佐賀県の県境に位置し、大川市の中心より西へ約 2 キロくらい行けば筑後川があり渡れば佐賀県の佐賀市になります。

昔から、日本一の家具産地として有名でしたが、今でも家具作りは継承されており、昔ながらの手作りの別注家具は特に人気があります。

また、JR 九州の豪華列車ななつ星で有名な伝統工芸の組子作りも人気を博しています。

【三丸地区の概要】

三丸地区は、皆様ご存じの偉大なる昭和歌謡の大作曲家、古賀政男先生の生誕地で、古賀政男記念館が建ち、全国より大勢の観光客が見えており市民からも親しまれております。

また、毎年 3 月には古賀政男音楽祭が開催され、全国から大勢の申し込みがあり活況を呈しています。音楽祭も今年で 40 回目の大会となり、氷川きよしさんや柳川市出身の北山たけしさんもこの大会で優勝され、その後歌手となられ、現在、皆様ご存じのと通りの活躍をされています。

【長生会】

私が所属しているクラブは、男性 33 名、女性 42 名の計 75 名で活動しています。平均年齢は、新規参入者が少なく、約 79 歳と年々高くなってきております。

1. 主な活動

- ・総会 ・ゆうゆう会 ・茶話会
- ・レクリエーション ・ルンルン体操
- ・日帰り旅行 ・グラウンドゴルフ
- ・奉仕活動（三丸公園、兼木公民館、古賀政男記念館周辺の清掃）
- ・ふれあい訪問活動



▲古賀政男記念館



▲ゆうゆう会自主活動スカットボール



▲ルンルン体操



▲日帰り旅行



▲古賀政男記念館周辺の清掃

2. 高齢者相互支援活動

コロナ禍での活動は、なかなか思うようにはできませんでしたが、いくつかの事例を紹介したいと思います。

事例① 見守り活動の対象者 Aさん(男性 85歳 1人暮らし)

Aさんは、本が好きで図書館に毎週火曜日から金曜日まで通い読書を楽しんでおられましたが、この1週間は姿を見なくなっておりました。

そこで、ご自宅を訪問してみると、膝の調子が悪いとのことで、ほとんど外出もしないで家に籠りきりの状態で、図書館にも行かれておらず、借りた本の返却ができないことを心配されておりました。

私が、借りた本の返却を代行しましたが、今後も膝の回復が長引くようならば、本も借りてあげたいと思っております。

事例② 見守り活動の対象者 Bさん(女性 78歳 1人暮らし)

Bさんは、75歳まで仕事をされていて活動的な方でしたが、仕事をやめられてからは家に籠りきりの生活が続いており、たまに見かけても元気がない様子でした。Bさんは、喋り好きで明るい方だと知っていた私は、話し相手にはならないかもしれないが話を聞いてあげるだけでもと思い、女性訪問員さんにBさんへの訪問を受け入れてもらい、お茶をいただきながら世間話等で過ごされたそうですが、Bさんには大変喜んでいただけたとのことでした。

一人住まいで、話し相手が欲しい場合があるようで、今後も折を見て女性訪問員さんに訪問してもらうようにしました。

事例③ 見守り活動の対象者 Cさん(男性 77歳 奥さん 76歳と2人暮らし)

散歩に行く、通りがかりの家に高齢者お二人で住んであるご夫婦がいらっしゃいますが、最近奥さんの大きな声が頻繁に聞こえるようになりました。

そこで、喧嘩でもしてあるのかなと心配になって、ご主人がお出かけの時に訪問して奥さんにお話をお聞きすると、ご主人の難聴が酷くなりTV等の音だけでなく話し声等も聞こえ難くなって、夫婦でもめることが多くなっていると相談されました。

話すときは、聞き取りやすいようにゆっくりと焦らずにお話することをお勧めしましたが、余裕があれば町の福祉で行っている補聴器の貸し出し等を利用されるようにお勧めしました。

なお、近いうちに再度訪問してどうなったかを確認して状況を見守りたいと思っております。

事例④ 見守り活動の対象者 Dさん(男性 82歳 奥さん80歳と2人暮らし)

ご主人は週三回人工透析を受けてあります。

奥さんからのお話で、ご主人が私の月に 1 回の訪問を楽しみに待っていると伺いました。

たまにご自宅を訪問しては、取りとめもない世間話等をしては過ごさせてもらっていました。

ところが、1 年が過ぎたころ、ご主人の病気が悪化して入院されました。

退院されてからは、月に 1 度くらいの訪問となりましたが、以前にもまして私の訪問を楽しみにしていただくようになりました。

高齢になり、病気にかかれた方にとっては、ご家族以外の方との何気ないふれ合いがことのほか大切であり、元気の源になるのだと実感しました。

【まとめ】

事例の 4 件でもわかる通り、普段生活している中では気づかない何気ないふれ合いが高齢者や一人暮らしの方々にとって、いかに大切で貴重な時間になっているかが分かるのではないのでしょうか。

近所においても、交流がないとお互いの事情が分からず戸惑うことも多々ありますが、出来ることから一歩踏み出すことがいかに大切かを実感しました。

今後も、訪問員さんや民生委員さんと協力して活動の輪を広げていきたいと思えます。